

リスクアセスメント：リスクの見積り例〔第3種有機溶剤〕

環境・健康

第3種有機溶剤は作業環境測定義務付けがないため、作業環境測定等がほとんど行われていないこと、また多数の成分が混在することなどから、検知管法によるリスクアセスメントは、簡便で有用な方法と考えます。下記に第3種有機溶剤の検知管法を用いたリスクの見積り例を示しました。なお、検知管法は、妨害成分の影響を受けやすいこと、また、成分の分別定量ができないため、スクリーニング的な評価とし、必要に応じガスクロマトグラフ分析法などにより測定することが望まれます。

第3種有機溶剤の検知管を用いたリスクの見積り例

| | |
|-----------|--|
| 測定対象物質の把握 | SDS等の情報を基に、測定対象物質を把握 |
| 使用検知管の選定 | 測定対象物質に対応する検知管を選定 ¹⁾ |
| ばく露濃度の測定 | B測定に準じ、検知管法により作業者の呼吸域でばく露濃度を測定 |
| 評価の指標 | 関係主要成分の許容濃度を参考に設定した値を評価の指標とする ¹⁾ 混在する成分によっては過小（過大）評価となる場合があり、必要に応じ適宜評価の指標を調整する |
| リスクの見積り | 〔大〕 評価の指標を超える 〔中〕 評価の指標を超える可能性がある（評価の指標の1/2以上） 〔小〕 評価の指標を超えない（評価の指標の1/2未満） |

1) kes Information No.220 リスクアセスメント：第3種有機溶剤〔検知管法・評価指標〕

kes サポート

| 課題 | kes サポート |
|-----------------|--|
| 有害物質の体内ばく露状況の調査 | 生物学的モニタリング |
| 有害物質の体外ばく露状況の調査 | 個人ばく露モニタリング |
| 有害物質の体外ばく露の情報 | 作業環境測定 |
| 衛生診断、リスクアセスメント | 作業環境測定、健康診断結果等に基づく衛生診断 リスクアセスメントの実施 |